

風光る丘

札幌市立平岡中央中学校
学校だより 学校評価特別号 No.2
令和元年 11 月 18 日

令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果について

令和元年 4 月 18 日（木）に、全国の小学 6 年生、中学 3 年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。すでに全国や各教育委員会でのまとめが公表されておりますが、このほど本校においても教科に関する調査（国語・数学・英語）の結果分析と改善の方向のまとめができましたのでご報告いたします。この報告様式につきましては、札幌市教育委員会の指導のもとに作成しており、具体的な数値での公表ではなく以下の表現であることをお知らせいたします。

全国平均と比べ 「+3.1 ポイント以上」 ⇒ 上回っている 「全国平均～+3 ポイント」 ⇒ ほぼ同程度であるが、やや上回る 「全国平均と同じ」 ⇒ ほぼ同程度 「-3 ポイント～全国平均」 ⇒ ほぼ同程度であるが、やや下回る 「-3.1 ポイント以下」 ⇒ 下回っている	例) 【 正答の割合 (%) 】 * 全国平均 62.2% ・ 本校 65.7% ↓ +3.5 ポイント ⇒ 上回っている
---	---

＜教科に関する調査の内容＞ 【3 学年における 1, 2 年次の学習状況についての調査】

【国語（ア）・数学（ア）・英語（ア）】 主として「知識」に関する問題 ・ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・ 実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など	【国語（イ）・数学（イ）・英語（イ）】 主として「活用」に関する問題 ・ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容 ・ 様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容
--	---

＜ 国語（ア・イ）設問別調査結果 におけるおおまかな概要＞

分類・領域		【国語（ア・イ）】の概要
「話すこと・聞くこと」 「書くこと」 「読むこと」 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」 「関心・意欲・態度」		・ ほぼ同程度であるが、やや上回る ・ ほぼ同程度であるが、やや上回る ・ 上回っている ・ 上回っている ・ 上回っている
本校の傾向	・ 国語においては、正答率で全国平均を下回る項目が一項目となり、昨年より上昇しました。それ以外の全ての設問で全国平均を上回る、またはやや上回るという結果となりました。「意見文の下書きに書き加える言葉として適切なものを選択する」という項目が-1.1 ポイントでした。無解答の割合も「文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ」、「封書の書き方を理解して書く」という点で高くなっていました。 全体的には「読むこと」、「言語文化」の項目が全国平均より特に良い結果となっています。	
▼今回の調査における課題 ● 観点としては全国平均より高く正答率で良好な結果が得られたが、「文章の展開に即して情報を整理して、内容をとらえる」、「封書の書き方を理解して書く」、「相手にわかりやすく伝わる表現について理解する」、「話し合いの話題や方向をとらえて自分の考えをもつ」などの設問が全国平均を下回る結果であった。		▼改善の方向 ○ 課題として挙げた、「封書の書き方を理解して書く」に関しては特に全国平均よりも上回ってはいるが、日常生活の中で封書を書く場面が減ったこともあり、国語の授業での指導に加え、総合的な学習の時間の活動場面などで機会をより多くもたせるようにしていきたい。 ○ 「自分の考えをもつ」ことや「相手にわかりやすく伝える表現」などについては、授業での言語活動などを強化していく必要があると考える。

【生徒質問紙調査結果の概要（国語に関すること）】

「国語の勉強は好きですか」では全国平均、全道平均を下回った。「国語の勉強は大切だと思いますか」では全国平均を下回った。「国語の授業の内容はよく分かりますか」、「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たとき役に立つと思いますか」、「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか」、「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか」、「国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝えるように根拠を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか」、「国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか」、「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか」のいずれの質問でも肯定的な回答の割合は、いずれも全国平均よりも高くなっています。これらの結果から本校の生徒の国語の授業への関心・意欲は非常に高いと言えます。

< 数学（ア・イ）設問別調査結果 におけるおおまかな概要 >

分類・領域		【数学（ア・イ）】の概要
「数と式」 「図形」 「関数」 「資料の活用」		・上回っている ・ほぼ同程度であるが、やや上回る ・下回っている ・ほぼ同程度であるが、やや上回る
本校の傾向	・数学では、「関数」において全国平均を下回っていますが、その他の領域において全国平均を上回っています。 ・観点においては総合的にみると全国平均を上回っています。 ・設問ごとにみる 16 問のうち 6 問が全国平均よりも正答率が低くなっています。 ・領域「図形」「関数」「資料の活用」の中には正答率がかなり低くなっているものもあります。	
▼今回の調査における課題 ●「図形」で「平行移動の意味を理解している」が全国平均を若干下回った。 ●「関数」では設問の大半で正答率が全国平均を下回った。全国平均から大きく下がっているものがあつた。		▼改善の方向 ○「関数」についての知識・理解を定着させるために、小テストや単元テスト、授業内での反復学習を行う機会を増やし、基礎・基本の定着を図る手立てが必要があると考え ○領域による理解度の差異が見られるので、TTや少人数指導といった学習方法の改善を取り入れ、教科指導の充実を図っていくことが必要だと考える。

【生徒質問紙調査結果の概要（数学に関すること）】

「数学の勉強は好きですか」、「数学の勉強は大切だと思いますか」、「数学の授業の内容はよく分かりますか」「数学の授業で学習した内容は、将来、社会に出たとき役に立つと思いますか」の質問に対する肯定的な回答の割合は、いずれも全国平均よりも高くなっています。また、「数学の問題についてどのように解答したか」という設問では、6割以上の生徒が「最後まで解答を書こうと努力した。」と回答していました。

数学の学習に対して肯定的な考えをもっている生徒が多く、前向きに取り組んでいる生徒が多いということが分かりました。

< 英語 設問別調査結果 におけるおおまかな概要 >

分類・領域	【英語（ア・イ）】の概要
「聞くこと」	・ほぼ同程度であるが、やや下回る
「読むこと」	・下回っている
「書くこと」	・ほぼ同程度であるが、やや下回る
「話すこと」	・ほぼ同程度であるが、やや下回る

本校の傾向	・領域、観点、問題形式の全てで平均正答率が全国平均を下回る結果となった。 ・評価の観点では「外国語表現の能力」が全国平均を下回ったが、全道平均より若干上回った。「外国語理解の能力」では全国平均、全道平均を下回った。 ・問題形式では選択式では全国平均、全道平均をやや下回った。短答式では全国平均を下回ったが、全道平均よりは若干上回る結果となった。記述式では、全国平均、全道平均を下回る結果となってしまったが、全道平均との差はわずか。
	・「話すこと」の領域では全国平均を下回った。 ・観点の短答式／口述式では全国平均を下回った。記述式／口述式では全国平均を上回った。 ・観点の「言語や文化についての知識・理解」は全国平均を上回った。
▼今回の調査における課題 ・英語の授業では表現活動を1，2年生から取り入れてきたが、「話すこと」の領域で全国平均を下回り、文法のみならず会話を取り入れたコミュニケーションを強化していく必要があると考える。 ▼改善の方向 ・英語の授業に関して、生徒の関心・意欲は高く、社会に出てからも必要であり、生かすことができるものと考えている。授業の展開で、より実践的なものを積極的に取り入れ、「話すこと」についての充実を図っていきたいと考える。	

【生徒質問紙調査結果の概要（英語に関すること）】

「英語の勉強は好きですか」の質問にはおおむね肯定的な回答が得られた。「英語の勉強は大切だと思いますか」、「授業の内容はよく分かりますか」の質問に対する肯定的な回答の割合は、全国平均よりも高くなっている。「英語の授業で学習した内容は将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の質問に対する肯定的な回答の割合は、全国平均を下回っている。「あなたはこれまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会（地域の人や海外にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）が十分にありましたか」では全国平均を下回っている。

1，2年生の時に受けた授業に関しての設問（英語を読んだり、聞いたり、書いたり、表現して伝える活動が行われていたと思いますか）では全国平均を上回る結果となった。英語の授業では聞く、読む、書く、表現するなどコミュニケーションを取り入れた授業を進めてきた結果が表れたものと思われる。

■□生徒質問紙調査における生活調査の結果について□■

◆「家庭でのコミュニケーション」にかかわる質問では、家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますかという質問に対し、全国平均、全道平均をいずれも上回っていました。学校での様子がご家庭での話題になることで、生徒は保護者との会話を通じてコミュニケーションを取ることができます。また保護者の皆様にも学校の現状を理解していただけることになり、今後も引き続き行ってほしいと思います。

◆「自己肯定感」にかかわる調査（自分には良いところがある…等）については、今年度は上回っています。また、「生活のリズム（起床・食事・就寝時間等）に関する質問」については、昨年度はやや下回っていましたが、今年度はいずれも全国平均、全道平均を上回りました。生徒の様子から安定した家庭生活を送っていると思います。

家での学習時間に関しては、全国平均とほぼ同程度という結果でした。もう少し家庭学習の時間を増やし、効果的な学習習慣をつくりあげるとよいと考えます。

◆昨年度から新たな質問項目として、「地域や社会とのかかわりに関する質問」が追加されました。「今住んでいる地域の行事に参加していますか」、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」についてでは全国平均を下回りました。町内会の行事が縮小していったりする現代ですので、この傾向は頷けますが、学校と地域との連携はより一層重要になってくると思います。また、「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか」では、肯定的な回答の割合が、全国平均とほぼ同程度でした。今後、グローバル化が一層進む現代社会において、英語の授業を中心としたコミュニケーション能力の向上が必要になってくると考えます。

【今後に向けて】 … 学力向上への取り組み …

◇本校の重点課題として取り組んでいる「授業のはじめに目標示し、確認する」、「学習内容を振り返る活動」を今後も継続して取り組んでいく。その他、授業づくりに教職員全体で今後も取り組み、一層の学力向上を図っていききたい。次年度以降「地域との関わり」に関する質問項目の結果を受け止め、ボランティア活動などを通じた「地域と一体となった活動」に力を入れ、生徒一人一人の心を育てていききたいと思います。

◇学校では、今後も機会あるごとに保護者のみなさまに取り組みの趣旨を説明し、理解を深めていただけるように努力してまいります。各ご家庭におかれましてはご協力をよろしくお願い申し上げます。また、学校だよりに関するお問い合わせは（教頭：藤王 又は 担当：松浦 Tel 881-6666）までお願いいたします。